

第15期 定時株主総会

平成24年6月20日(水)



ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード:9422

報告事項

第15期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

それでは、アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
第15期事業報告及び計算書類について、
ご報告いたします。

第15期 事業報告

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

「事業報告」につきましては
お手元の「招集ご通知」の3ページから16ページに
記載の通りであります、
その概要をご報告いたします。

■ 当事業年度の日本経済

東日本大震災や原発事故の影響からの回復の兆し

欧州
債務問題

円高

株安

デフレ
経済



長期化



依然として
先行き不透明な状況が続く

まず、「会社の現況に関する事項」の、「事業の経過及びその成果」についてですが、当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の影響からの回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題、円高、株安、デフレ経済等が長期化する中、依然として先行き不透明な状況が続きました。

携帯電話業界を取り巻く環境

通信キャリア各社

スマートフォン

タブレット端末

▶ 続々と投入



年度
後半

活発なお客様獲得競争が展開

当社が事業活動を行う携帯電話業界におきましては、通信キャリア各社からスマートフォンやタブレット端末等が年度を通じて続々と投入されるとともに、年度後半には活発なお客様獲得競争が展開されました。

顧客基盤の拡充

大手カメラ/
家電量販店

キャリア認定
ショップ

売場拡張

移転・改装

▶ 積極的に行う



お客様が快適に過ごせる環境づくり

スマートフォン販売に注力

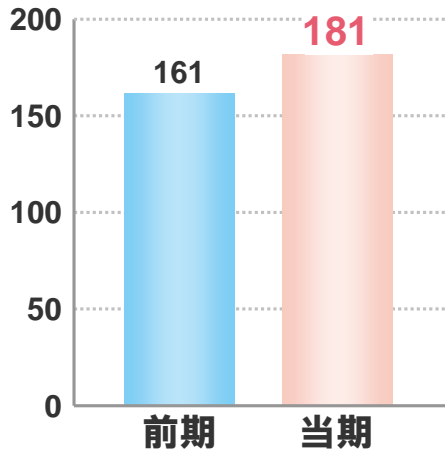
このような事業環境の中で当社は、
大手カメラ／家電量販店及び
キャリア認定ショップにおいて、
売場拡張や移転・改装を積極的に行う等、
お客様が快適に過ごせる環境づくりを行い、
スマートフォン販売に注力しました。

販売台数、売上高

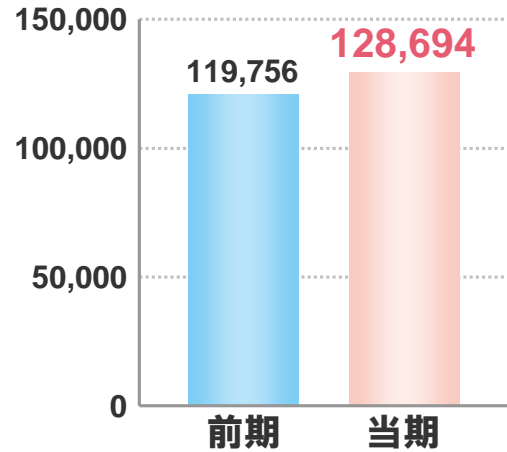
販売台数 前年度比 **12.0%増**

売上高 前年度比 **7.5%増**

(単位:万台)



(単位:百万円)



その結果、当事業年度の販売台数は前年度比12%増の181万台、売上高は前年度比7.5%増の1,286億94百万円となりました。

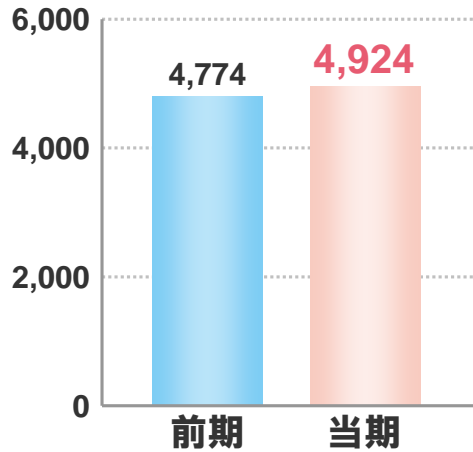
事業の経過およびその成果

営業利益、経常利益

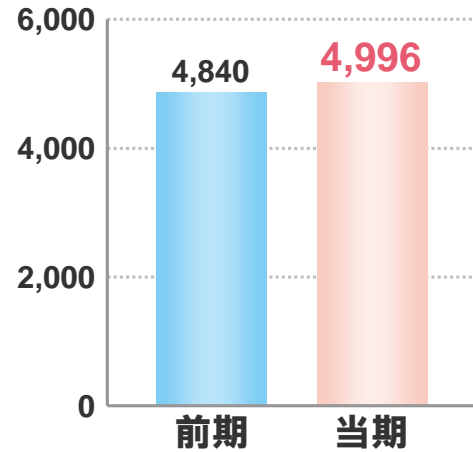
営業利益 前年度比 **3.2%増**

経常利益 前年度比 **3.2%増**

(単位:百万円)



(単位:百万円)

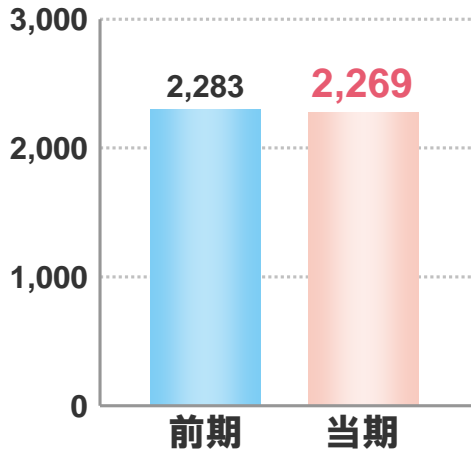


営業利益は前年度比3.2%増の49億24百万円、
経常利益は前年度比3.2%増の49億96百万円
となりました。

当期純利益

当期純利益 前年度比 **0.6%減**

(単位:百万円)



前期

- 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

特別損失 **1億78百万円**

当期

- 法人税改正

法人税等調整額

2億10百万円 増加

当期純利益は、前年度比0.6%減の22億69百万円となりましたが、これは前事業年度に「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い計上した特別損失1億78百万円がなくなった一方で、当事業年度は法人税改正に伴い、繰延税金資産が減少し法人税等調整額が2億10百万円増加したこと等によるもので、実質的には増益となりました。

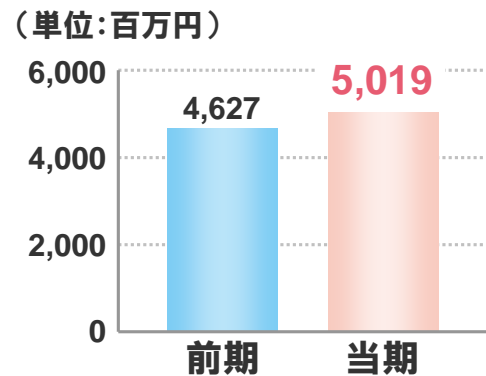
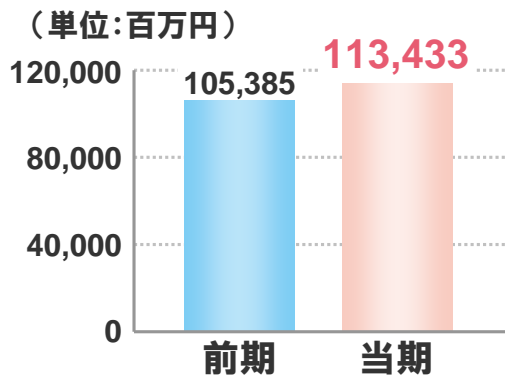
● コンシューマ事業

スマートフォン販売に注力

▶ 販売を大きく伸張

売上高 前年度比 **7.6%増**

営業利益 前年度比 **8.5%増**



次に、事業別の状況について、ご報告いたします。

コンシューマ事業では、
先ほどご報告申し上げたとおり、
スマートフォン販売に注力したことで
販売を大きく伸張させることができました。

この結果、当事業年度の売上高は前年度比7.6%増の
1,134億33百万円、
営業利益は前年度比8.5%増の
50億19百万円となりました。

事業の経過およびその成果

法人事業



E-PORTER

順調に
伸長

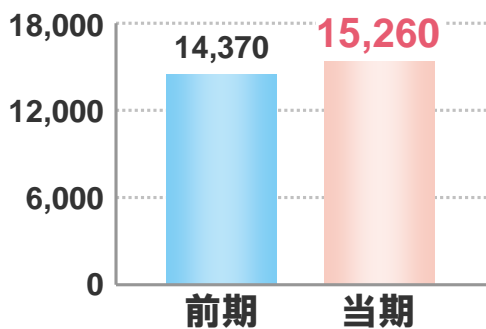
ITC Networks
マネージドサービス



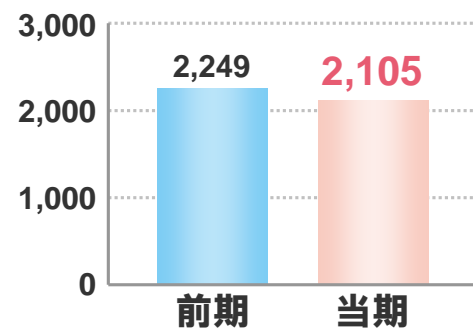
売上高 前年度比 **6.2%増**

営業利益 前年度比 **6.4%減**

(単位:百万円)



(単位:百万円)



法人事業では、携帯電話の通信コスト・管理コスト削減への関心が高く、回線管理サービスの「E-PORTER」や携帯電話の管理業務のアウトソーシングである「マネージドサービス」の契約が順調に伸長しましたが、販売促進コストがかさんだことなどから、売上高は前年度比6.2%増の152億60百万円、営業利益は前年度比6.4%減の21億5百万円となりました。

第15期 計算書類

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、「計算書類」につきましては、
お手持の「招集ご通知」17ページから27ページに
記載のとおりであります。
その概要をご報告いたします。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	42,306	流動負債	27,637
固定資産	6,637	固定負債	1,630
		負債合計	29,267
		純資産の部	
有形固定資産	1,229	株主資本	19,520
無形固定資産	1,466	資本金	2,778
投資その他の資産	3,942	資本剰余金	3,180
		利益剰余金	13,560
		自己株式	△0
		評価・換算差額等	157
資産合計	48,944	純資産合計	19,677
		負債・純資産合計	48,944

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「貸借対照表」につきましては、
 資産合計は489億44百万円、
 負債合計は292億67百万円、
 純資産合計は196億77百万円となりました。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	128,694
売上原価	100,594
売上総利益	28,099
販売費及び一般管理費	23,175
営業利益	4,924
営業外収益	107
営業外費用	34
経常利益	4,996
特別利益	5
特別損失	76
税引前当期純利益	4,925
当期純利益	2,269

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「損益計算書」につきましては、
 すでにご報告の通り、売上高は1,286億94百万円、
 営業利益は49億24百万円、経常利益は49億96百万円、
 当期純利益は22億69百万円となりました。

なお、「株主資本等変動計算書」、
 「個別注記表」につきましては、
 お手元の「招集ご通知」に記載のとおりであります。

その他会社の現況に関する重要な事項

「パナソニック テレコム株式会社との合併について」

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、
「その他会社の現況に関する重要な事項」に
記載しております
「パナソニック テレコム株式会社との合併について」
ご説明いたします。

パナソニックテレコムとの合併について

平成24年10月1日付
パナソニックテレコムと合併することを決議



当社は、平成24年10月1日付で
パナソニックテレコム株式会社と合併することを
決議し、合併契約書を締結いたしました。

携帯電話の端末販売市場が従来型の携帯端末から
スマートフォンへ大きく変化するなかで
今回の決断をするに至りました。

パナソニック テレコムとの合併について

年間販売台数

300万台超

キャリア認定
ショップ数

421店舗

法人顧客

1万社 50万回線

統合会社は、年間の販売台数が300万台を超え、運営するキャリア認定ショップが421店舗となる等、全国各地域において高いシェアを確保することができます。

また、1万社50万回線の法人顧客を有する企業となります。

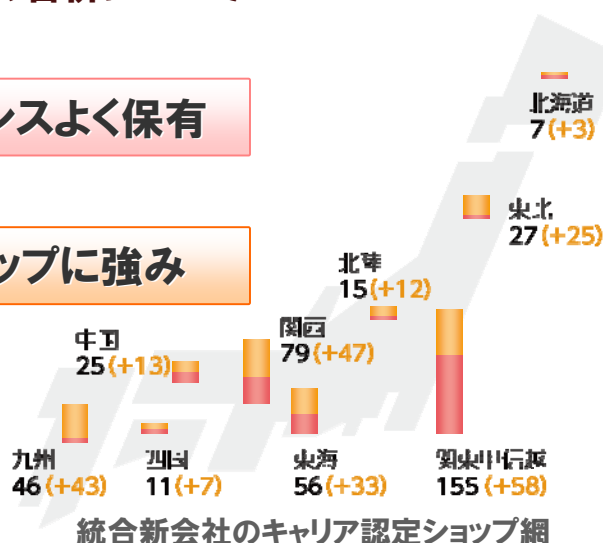
パナソニック テレコムとの合併について

当社

各チャネルをバランスよく保有

パナソニック テレコム

キャリア認定ショップに強み



最適な補完関係が成立

携帯電話の端末販売市場においては、すでに両社とも大手の一角を占めておりますが、当社は、関東を主力市場とし、販売チャネルとしては量販店、法人及びキャリア認定ショップと各チャネルをバランスよく保有している一方で、パナソニック テレコムは関西を中心に全国各エリアで高いシェアを有するとともに、キャリア認定ショップに強みを持っており、お互いの強みを活かせる最適な補完関係が成立すると考えております。

パナソニックテレコムとの合併について

経営統合 ▶

事業規模の拡大

収益基盤の拡充

業界のリーディングカンパニー

- スマートフォンを中心とした市場の成長を牽引
- 従来以上に従業員満足を充実

お客様満足度の高い
接客拠点の確立

両社の強みを活かした
新たな事業領域の創造

環境変化の激しい携帯電話市場において、
経営統合により事業規模の拡大と
収益基盤の拡充を図り、
業界のリーディングカンパニーの1社として、
スマートフォンを中心とした市場の成長を牽引するとともに、
従来以上に従業員満足を充実させ、
業界で抜きん出たお客様満足度の高い接客拠点の
確立と両社の強みを活かした新たな事業領域の
創造を目指してまいります。

なお、本件につきましては、
後ほど議案にてお諮りします。

対処すべき課題

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、「対処すべき課題」について、
ご説明いたします。

スムーズな統合へ向け統合準備委員会を設置

ガバナンス体制を
確立

早期に
シナジー効果を
極大化

企業価値向上

先程ご説明いたしました
パナソニック テレコム株式会社との合併を実現させ、
統合会社をスムーズに立ち上げるために
統合準備委員会を設置し、
ガバナンス体制を確立するとともに
早期にシナジー効果を極大化させ、
企業価値向上を実現できるように活動していくことが
最大の課題であると考えております。

加えまして、経営課題として認識している
以下の活動にも継続的に注力してまいります。

① お客様サービスの追求

サービスの向上を常に追求

- 深い商品知識
- ホスピタリティ溢れる接客

お客様満足度の更なる向上

② 販売強化と収益基盤の拡充

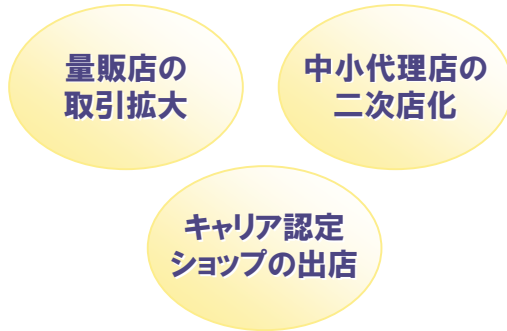
スマートフォンなどの携帯電話市場の活況を着実に捉える

販売にこだわり収益を拡大

第一に、お客様接点を担う立場としてサービスの向上を常に追求し、深い商品知識とホスピタリティ溢れる接客の実践によりお客様満足度の更なる向上を目指します。

第二に、スマートフォンを中心とする携帯電話市場の活況を着実に捉え、販売にこだわり収益を拡大してまいります。

③ 規模拡大



機会を積極的に創出

規模の拡大を図る

④ 効率化の追求

業務オペレーションの見直し

生産性を向上

費用対効果を意識

メリハリのある経営資源の配分

第三に、キャリア認定ショップの出店、量販店の取引拡大、中小代理店の二次店化等の機会を積極的に創出し、規模の拡大を図ってまいります。

第四に、お客様サービスの追求と並行して、業務オペレーションを見直し、生産性の向上に努めます。

また、費用対効果を意識し、メリハリのある経営資源の配分を行います。

⑤ ES(従業員満足)とCSR

- ステークホルダーからより信頼される企業
- 環境変化に対応できる人財を育成
- 相互に認め称賛し合える職場
- 全社でCSR経営を推進



第五に、お客様接点を担う責任と自覚を社員一人ひとりが持ち、ステークホルダーからより信頼される企業を目指します。

多様な労働観を持つ人財を受け入れ、環境変化に対応できる人財を育成します。

さらに、お客様満足を高める行動を相互に認め称賛し合える職場になるように現場改革を進めます。

また、環境への配慮、地域社会への貢献活動を引き続き実施し、全社でCSR経営を推進します。

剰余金の配当等の決定に関する方針

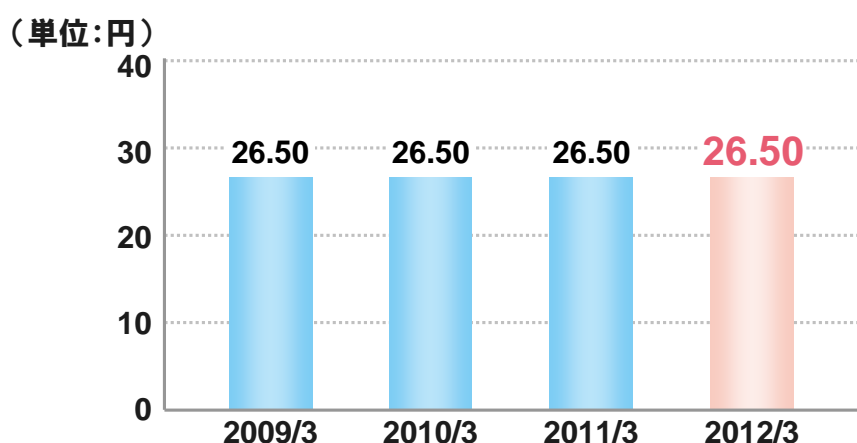
アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

最後に、「剰余金の配当等の決定に関する方針」
について、ご報告いたします。

配当方針・年間配当額

「配当性向40%超」を基本方針とする

当期 1株につき金**26.50円** 配当性向 **52.2%**



当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、「配当性向40%超」を基本方針としております。

このため当事業年度の年間配当につきましては、1株につき26.5円、配当性向は52.2%として、後ほど議案にてお諮りします。

今後とも企業価値を継続的に高めることで、安定的な株主還元を目指してまいります。

なお、内部留保につきましては、新規販路拡大や事業展開資金に活用し、事業の拡大・成長を図ってまいります。

- **設備投資の状況**
- **財産及び損益の状況の推移**
- **重要な親会社及び子会社の状況**
- **主要な事業内容**
- **主要な事業所**
- **従業員の状況**
- **主要な借入先**

ただいまご説明した内容のほか、「設備投資の状況」、
「財産及び損益の状況の推移」、
「重要な親会社及び子会社の状況」、
「主要な事業内容」、「主要な事業所」、
「従業員の状況」、

- **会社の株式に関する事項**
- **会社の新株予約権等に関する事項**
- **会社役員に関する事項**
- **会計監査人の状況**
- **会社の体制及び方針**

「主要な借入先」、
「会社の株式に関する事項」、
「会社の新株予約権等に関する事項」、
「会社役員に関する事項」、「会計監査人の状況」、
「会社の体制及び方針」、につきましては、
いずれも記載のとおりであることをご報告いたします。

以上、第15期事業報告及び計算書類について、
ご報告いたしました。